

＜ 自己チェック評価 まとめ ＞

		26年度の評価点	26年度の課題点	27年度の改善点
クラス・担当 運営評価	ひよこ	<ul style="list-style-type: none"> 途中職員の入れ替わりがあったが、安心して過ごせるよう連携した。 消毒や加湿をするように努めた。 不都合な点はその都度話し合いながら進めることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境の工夫 子どもたちがぐずる時間帯の改善方法。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊ぶ、寝るスペースの工夫や低月齢児、高月齢児の遊びのスペースを分けるなど、もう一歩改善できるようにする。 移行に向けての進め方。
	つくし	<ul style="list-style-type: none"> 問題や不都合が出るたびに話し合うようにした。(4) 子どもに合わせて、トイレトレーニングをした。 個人のペースに合わせて進める事が出来た。 大きなケガがなく、安全に保育を行った。 戸外遊びを多く取り入れたので、子ども達の体力が付いた。 0.1歳の関わりが持てた。 	<ul style="list-style-type: none"> 未満児同士の連携(2) コーナーなど、環境の見直しが足りなかった。(2) 手作りおもちゃが少なかった。(2) 噛みつきやひっかき予防。 噛みつきやひっかきなど、子ども同士でのトラブルの親への理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のクラスとの報告・連絡・相談をしっかりと行う。 問題が起こる前に、定期的に環境を見直すべきだった。(2) 0.1歳児の活動に合わせて、活動を連携していく。 噛みつきやひっかき予防 2歳児との関わりを増やす。 手作りおもちゃを作っていく。
	たんぽぽ	<ul style="list-style-type: none"> クラス内で話し合い、コーナーの見直しや移行を進められた。(2) 自分の思った事は担任間で発言したり、工夫したりできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症が増えてしまった。 他のクラスとの連携が不十分だった。(2) おもちゃの消毒をこまめにするべきだった。 報告・連絡・相談 病院に行くケガがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> なかよしの日について話し合う(2) アレルギーの子に対して、もっと深くまで、保護者と情報交換をしていく。 報告・連絡・相談をもっとする。 おもちゃの消毒をこまめにする。 以上児だけでなく他のクラスとも話し合うべきだった。 アレルギーで、二重確認を怠った時があったので、確認をして間違いないようにしていく。
	3・4・5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で話し合い、進めていくことが出来た。(3) 大きなケガがなかった。 保育の中で自然に触れられた。 子どもと保護者と協力して、同じ目標に向かって努力し達成できた。(サッカー大会) 年度後半2歳児～の職員間で連携した。 がんばり表を活用できた。 来年度へ向け、サッカーへの興味を深めることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分がリーダーやサブではない週や月の活動が分からない事があったので、確認するべきだった。 気になる子への対応。(チーム保育、障害児) テーマへの取り組み(3) 室内の仕掛け(飾りなど) 遊びのルールやマナーなど、身に付けられるよう、もっと努力するべきだった。 衛生面、整理整頓への配慮。(2) お手伝い保育以外での未満児との関わり。 コーナーの中身。 落ち着いて話を聞けない子が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマの進め方について、話し合っていく。(3) コーナーの話し合い、工夫。(2) 掃除、整理整頓。(2) 今日のヒーローをもっと活用していく。 より個人の把握。一人一人に合った保育。 未満児との交流。 アレルギーの子への配慮。 食事のマナー。 集中して話を聞けるよう工夫。
	一子育てか支援	<ul style="list-style-type: none"> 常に報告・連絡・相談をしていたので、スムーズに保育ができた。 クラスとの連携を密にし、手伝える時は手伝った。 	<ul style="list-style-type: none"> 無駄口が多かったのが気をつけたい。 整理整頓が出来なかった。 人数が多い日や年齢に幅ある日は、その子に合った保育や声掛けが出来ない事があった。 	<ul style="list-style-type: none"> コーナーの見直しや部屋の装飾の工夫が必要。 予約の入れ方。 会議になるべく参加。 定期的に来る子への、身体測定。 ふれあい広場がある際の、連携の確認。
	給食	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の献立や手作りおやつを写真で掲示し、保護者へ伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー疾患の子どもに対し、代替え品がいつも同じになってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー疾患の子どもに対し、代替え品がいつも同じになってしまうので、バリエーションを増やしていきたい。 来年度へ向け、保育士と合同で話し合いをし、共通理解を深めていきたい。

